

センターだより

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

第 1 1 号

令和2(2020)年 3月23日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

令和元年度 教育センター 事業報告

1 教職員研修

- (1) 市教育センター研修 218講座 ※新型コロナウイルス感染対応のため、8講座が中止となりました。
参加者 のべ5,476人(3/6現在)

令和元年度研修講座・受講者数(前年度の受講者数は、年度末のものです)

講座名	講座数		受講者数		講座名	講座数		受講者数	
	当該年度	前年度	当該年度	前年度		当該年度	前年度	当該年度	前年度
管理職研修	17	16	760	625	教育課題別研修	18	16	474	416
スクールリーダー研修	6 1講座中止	6	134	169	英語教育研修	15	15	392	321
10年経験者研修	15	11	194	209	授業づくり研修	14	11	392	397
ヤングリーダー研修	6	6	51	61	特別支援教育研修	14	14	978	817
ステップアップ研修	24	22	862	945	専門職研修	8 1講座中止	9	164	180
初任者・フレッシュ研修	48 5講座中止	48	651	757	幼稚園・小学校教育研修	1	1	73	43
※10年経験者研修選択研修受講者数は教育課題別研修に集約 ※10年経験者研修講座数増加は、今年度、栄養教諭10年経験者研修実施年度のため					情報教育研修	32 1講座中止	36	351	319
					講座全体	218 8講座中止	211	5,476	5,259

(2) 校内研修支援

校内研修会講師・指導助言

(3) さつきらるーむ(初任者教員等相談室)(のべ21回)

研究授業等に向けての相談、初任者等への訪問指導

2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

ア 発達理解 イ ICT活用 ウ 英語教育 エ 道德教育 オ 授業づくり カ 不登校対応 キ 健康・安全

(2) 委嘱研究学校

ア 言語活動・・・吹田南小学校、千里第一小学校、岸部第一小学校 イ 道德教育・・・第三中学校
ウ その他(授業改善)・・・佐井寺中学校

(3) 教育研究団体への支援

ア 吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金 イ 大阪府小・中学校教育研究会 分担金 ウ 各種研究会 分担金

3 教育資料の収集・発信

- (1) センターだより(各月・特別号) 紀要114号(年度末に電子版で発行) 所報90号(次年度当初に発行)
要覧NO.26(毎年発行)

- (2) 教育資料等の充実・活用、SATSUKIネットの活用

4 教育研究大会・教育研究報告会

- (1) 教育研究大会 8月27日(火)実施 教職員200人が参加

「可能性を信じて 変化する素晴らしさ～パラリンピックを通して～」にテーマで講演を実施(千里市民センターで開催)

- (2) 教育研究報告会 1月29日(水)午後に実施 教職員285人が参加

研究委嘱校、学研、研究グループ等の18団体が発表。(ゆいぴあで開催)

- (3) 保護者啓発講演会 11月21日(木)午前に講演会を実施 保護者110人が参加

(千里市民センターで開催)



5 教育相談

- (1) 電話・来所相談 不登校、学習、発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動に関する相談に対応
- (2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員を派遣し、子供や保護者、教職員の相談に対応
- (3) いじめのなやみ相談 (専用ダイヤル)

6 適応指導教室

不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標とした「光の森」活動、「学びの森」活動の実施

7 特別支援教育

- (1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への個別の巡回相談、小学校1年生全員を対象とした巡回相談の実施
- (2) 教職員の指導力育成 特別支援教育研修 特別支援教育コーディネーター研修、事例検討研修、支援学級研修の実施
- (3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談を通した中・高生とその保護者の支援

9 情報教育

(1) 情報教育機器の導入

教材提示装置等 (普通教室へ固定式プロジェクタ及び無線LANアクセスポイント) の導入

(2) 情報教育機器等の保守運用

- ア PC及び周辺機器の保守運用 (職員室・コンピュータ教室・図書室)
- イ 児童・生徒用タブレット及び無線LANアクセスポイント及びプロジェクタの保守運用

(3) SATSUKI ネットの保守運用

- ア センターサーバー方式によるデータの本庁サーバ室での一元管理・保守運用
- イ 統合型校務支援システム (Te-Comp@ss) の保守運用 ウ 共有フォルダの保守運用
- エ 各校・園のHP管理システムの保守運用 オ 各校・園のブログシステムの保守運用
- カ 保護者向けメール配信システムの構築・保守運用 (保育園・幼稚園用は今年度構築)
- キ 情報セキュリティアンケートの実施

(4) 情報教育推進支援

- ア 情報教育推進委員会 (5回開催) イ 情報教育研修の実施

10 学校支援

学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数 (3/6現在) : 583名

- (1) エス・ネット
- (2) スクール・ボランティア
- (3) 学校インターンシップ

令和2年度事業計画

1 教職員研修

- (1) キャリアステージに応じた研修と教科指導・教育課題別の専門性に応じた研修の充実
- (2) 教育研究大会
令和2年8月26日 (水) 午後 千里金蘭大学 佐藤記念講堂
講師 立命館大学 宮口幸治 教授 (著書「ケーキの切れない非行少年たち」「コグトレ」等)
- (3) 教育研究報告会
令和3年2月3日 (水) 午後 子育て青少年拠点 夢つながり未来館 (ゆいぴあ)
- (4) いじめ予防推進事業 (いじめ予防リーダー研修等)

2 教育課題調査研究

- (1) 教育センター研究グループ 全てのグループで2年次の研究を進めます。
- (2) 委嘱研究学校 6校に研究を委嘱予定

3 教育相談

- (1) 来所・電話相談 変更なし 出張教育相談 調整中
- (2) 大阪府スクールカウンセラー 配置校以外の変更なし

4 教育支援教室 光の森・学びの森・家庭訪問活動

5 特別支援教育

- (1) 小学校1年生を対象とした巡回相談の実施
- (2) 特別支援教育C o. 研修 共通研修 (5回実施予定) 選択研修 (3回以上受講)

6 情報教育

- (1) 情報教育機器の活用の推進 (2) 情報リテラシーの向上、情報セキュリティの徹底 (3) 学校図書館システム更新計画

委嘱研究学校の研究紹介

吹田市立第三中学校

研究テーマ「多様な方法を取り入れた道徳科の工夫」

令和2年2月18日（火）に、第三中学校で実施された公開研究授業および講演会に参加させていただきました。第三中学校では、今年度から委嘱研究学校としての取り組みをスタートされました。来年度には、大阪府中学校道徳教育研究発表会三島大会での授業公開も予定されています。今回は、「捨てられた悲しみ」を教材とした公開授業（1年生）と、永田 繁雄 先生（東京学芸大学 教授）には、「アクティブで活力ある道徳授業をつくろう」をテーマに御講演いただきました。

本教材は、D-（19）「生命の尊さ」を主題とし、ペットとして飼われていた犬猫の殺処分問題とそれにかかわる一人の職員を取り上げたものです。

導入では、ペットたちが集められ、殺処分が行われるまでを追跡取材した動画を見るところから始まりました。生徒たちは、教材本文を通して、悲しみや怒りなどの感情を整理し、発問に対して、自分の言葉で思いを語りあっていました。授業後の講演では、本時における効果的な映像の見せ方や様々な立場から考えさせるための教材の生かし方等幅広く解説いただき、問題意識が高まりました。

今回の学びを機会に、第三中学校では、研究テーマに迫る議論がさらに重ねられることと思います。次年度以降もその成果を様々な形で発信していただけることを期待しています。



◆ 教育相談 ◆

1 出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

令和元年度は、市内全36小学校を対象に、相談実績に応じた年間派遣回数を設定して教育相談員を派遣し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラー（以下SC）が全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童・生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議における助言等です。本年度1月31日時点（SCのみ2学期末）では、小学校・出張教育相談が2,271件、中学校・SCでは5,747件の相談がありました。小学校では特に発達障がいや不登校に関して、中学校では不登校に関しての相談が多くありました。教育相談員・SCの生徒指導会議やケース会議への参加も増えています。

2 来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では、1月31日現在で、合わせて2,714件の相談がありました。主訴は不登校、発達障がい、心身の健康・保健等に関する相談が多く見られました。

◆ 不登校児童・生徒支援事業 ◆

本市適応指導教室の状況

今年度の在室児童・生徒数は「光の森」活動が30名（中学3年生11名、2年生12名、1年生5名、小学6年生2名）、「学びの森」活動は、48名（中学3年生19名、2年生9名、1年生9名、小学6年生7名、小学5年生1名、小学校4年生2名、小学校3年生1名）、家庭訪問活動は、中学1年生が1名です。

今年度も、学校訪問や連絡会をとおして、学校・家庭・適応指導教室が連携して子供を支える体制を整え、多くの児童・生徒が、校内適応指導教室との併用など、在籍校への部分登校につながりました。また、「光の森」活動と「学びの森」活動の合同行事にも多くの児童・生徒が参加し、交流を深めることができました。

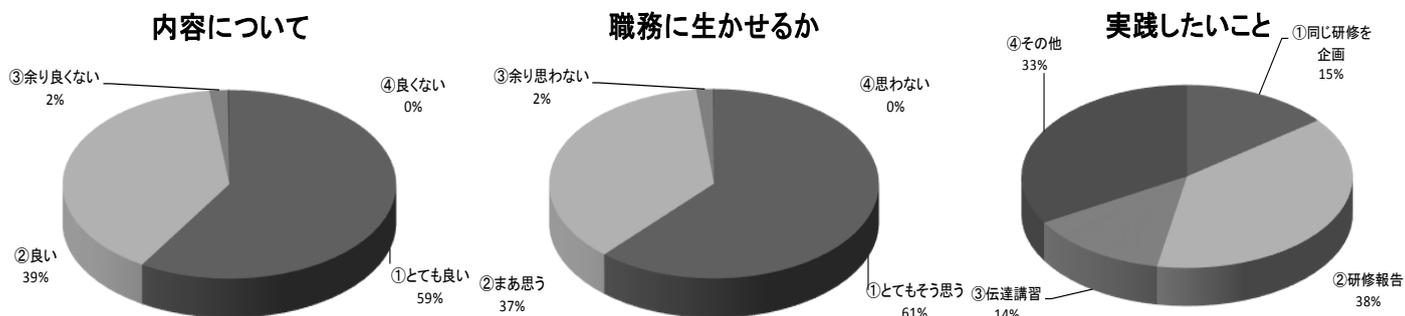
※在室児童・生徒数は体験中の児童・生徒数を含みます。

令和元年度教職員研修について

■ 令和元年度研修講座と参加者数

幼小中一貫教育をはじめとする吹田市の重点施策に加え、新しい教育課程やICT活用、次世代のリーダー育成等の今日的課題に応じた研修を中心に、のべ5476人の参加がありました。(3月6日現在)

■ アンケート結果概要(回収率86.7%)(3月6日現在)



研修内容については、「とても良い」「良い」をあわせて98%、「今後の職務に生かせるか」という質問に対しては、「とてもそう思う」「思う」をあわせて98%の肯定的回答があり、昨年度と同様にとても高い評価をいただきました。(3月6日現在)

また、研修の事後活用について、報告に留まらず、「同じ研修を企画」「伝達講習」等、各学校・園での研修内容や情報の共有化に向けた取組みへの意識を感じました。

他にも自由記述等で、研修の進め方やテーマ設定等に係るたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校・園のニーズを踏まえ、中核市移行初年度となる令和2年度の研修を準備していきます。

研修への積極的な御参加ありがとうございました。

■ 研修領域別「内容はどうでしたか？」に対する回答結果

